

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	宇都宮大学オプトバイオシンポジウム2017 (2017年12月13日、宇都宮大学 峰キャンパス 大会館2階多目的ホール・談話室)
演題名	Euglenaにおけるジャスモン酸合成系遺伝子OPR の単離と機能解析
発表者	中村将志○、 <u>加藤翔太</u> 、宮本皓司、湯本絵美、内田健一、横田孝雄、山根久和、篠村知子
内容	<p>微細藻類の一種であるEuglena gracilis はジャスモン酸を持つことが知られていますが、ユーグレナなどの微細藻類ではジャスモン酸合成系の遺伝子はこれまでに単離されていませんでした。そこで、私達は高等植物のジャスモン酸合成経路においてOPDA還元酵素として働くことが知られているOPR遺伝子のホモログを、EuglenaのEST配列から6個見出してEgOPR1-6と命名し、その遺伝子群の単離と酵素活性の解析を行いました。</p> <p>本研究は、卒研究生の中村将志君の卒業研究の結果の一部を報告したものです。本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受けました。</p>
関連画像	